

富士アルミ管工業株式会社

～アルミ製スリーブの世界シェア60%を生産～

今やオフィスに欠くことができない事務機器となったレーザープリンターやコピー機。その重要部品となる印刷部分のドラム、トナーをドラムに供給するスリーブ、クリーニング用のローラーなど約200種類に及ぶアルミ管を製造している。トナー交換をする際などに機器を開けたことがあれば、必ず目にしたことのある部品だろう。精密機器の最重要部品の一つとされることから、ミクロン単位の精度が要求される。とりわけ高精度が求められるカラー印刷が主流となりつつある今日、これまで培ってきた技術力が顧客からの信頼を一層高めているところだ。

なかでも高精度が求められるスリーブ類は、年間5,000～6,000万本を生産。国内需要のおよそ70%、世界的な需要に当てはめると約60%をカバーする生産量を誇る。部品メーカーのため直接消費者からは見えにくいだが、この分野を牽引する世界的なトップ企業といえる。

創業は1964（昭和39）年、本社となる三芳工場を県内入間郡に立ち上げ、カメラレンズ



本社・三芳工場

の鏡体などを製造していた。前身の(有)富士伸管所時代は銅や真鍮製品だったが、三芳工場からアルミ製品に切り替わったことから、ここを現在の出発点としている。営業部門を置く朝霞工場を稼働させた1980（昭和55）年から、プリンター部品の製造に着手。コンピュータ時代の急速な変化に対応してきた。1992（平成4）年には山形工場を建て、スリーブやローラーの軸となるフランジとの一体加工を充実。より精度の高い組立品の部品製造へと事業の幅を広げた。

三芳工場での操業開始から、会計期が節目の50期を迎えた昨年を創業50年と位置づけ、記念のクオカードを作成。顧客に配付するなど、改めて存在をアピールした。

海外に生産拠点を構える顧客が増え、部品の現地調達も進められるなか、一昨年5月に就任した岩田元晴社長は、その使命を「存続と発展」と言い切る。競合相手としては、中国の部品メーカーが当面のライバル。「価格差は1割くらい。国内需要については十分戦える」と分析する。強気の背景としては、近年とりわけ高精度が要求されるカラープリンター部品の需要が増えていることが挙げられる。わずか数ミクロンとはいえ、個々の部品



ドラム、スリーブなどの主力製品

誤差が色ずれに現れるため、モノクロ部品以上の技術が必要になるからだ。

一方、納入先となる顧客メーカーの現地調達、生産部門では、現地精度に依拠した製品づくりを目指しているが、量産段階になると「当社へ発注してくれる」という。それは一律に高精度を追うのではなく、精度要求に応じた部品を供給できるように生産工程を改良、部品精度の幅を広げたことが功を奏した結果だ。こうした現地調達に対する競争力の向上は、とりもなおさず顧客ニーズに対応して部品を提供するという企業努力と、顧客との信頼関係のあかしともいえる。

岩田社長は「円高定着による売り上げの落ち込みはあるが、精度の幅を広げるなどで対応していきたい」と、技術力を武器にした柔軟姿勢を強調する。

技術面での優位性としては、製造のカギを握る抽伸工程の精密さ。常温で材料となるアルミ管を引っ張り、太さや肉厚などを整える加工部分で、真円度や同軸度といった品質が決まる最も重要な工程となる。さらに、引っ張って伸ばす工程だけに、フレと呼ばれる管の反りが生じ、これをいかに抑えるかがポイントだ。管を転がした際に生まれる水平面との隙間がこのフレで、フレ精度を高めるため特別オーダーの機器を導入、8ミクロンを達成して他の内外メーカーに水を開けている。



三芳工場の自動抽伸機による製造工程

同業他社での海外勤務を経験している岩田社長は、国際的視野も広い。世界規模の景気低迷と円高傾向を見据え、次のテーマに生産拠点の海外進出を計画。一昨年から昨年にかけて進出プロジェクトを立ち上げた。当初は顧客が進出している中国を念頭に置いていたものの、尖閣諸島問題で急浮上した日中関係の冷え込みなどを考慮し、ベトナムやタイなど対象国を拡大した。いずれにせよ進出効果がなければ意味がないため「今は顧客の動向を見極めたい」と慎重な姿勢をとっている。

業界では2014年あたりまで需要減が続く見通しとみられている。オフィス対応製品への部品供給がすべてのため、景気動向に左右されがちだが、より技術力を高めるとともにコスト削減を重ね、海外進出も含めて新たな飛躍を期している。

企業概要

- 会社名 富士アルミ管工業株式会社
- 代表者 岩田 元晴
- 創業 1964年
- 資本金 2億5,500万円
- 従業員 124人
- 事業内容 プリンター用スリーブ、ドラム等の部品製造
- 本社 入間郡三芳町北永井822
- 営業部 朝霞市膝折町3-4-45
- 電話番号 048-461-3197 FAX 048-461-3129
- 取引店 朝霞支店



岩田 元晴社長